

# 第5回 日釣連チヌ釣りトーナメント優勝

京都府釣連盟 池上 康幸



第5回日釣連チヌ釣りトーナメント大会が石鏡で行われました。長い間続くコロナ禍の中各種大会の中止が相次ぎましたが制限が和らいだ絶好の機会で開催していただきました。本当に役員の皆様には感謝の言葉しかありません。関西でのチヌ釣りトーナメントが行われることは少なく、グレ釣りでのトーナメントが多い中、生駒会長の発案にて始まったものと理解しております。私も大会役員の手伝いとして登録は久しぶりのことで大変楽しみにしておりました。朝の受付を感染症対策の中すませ、少しうねりのある中、渡磯し一回戦小谷選手との対戦で沖側からの開始です。逆光で見えにくい中トップを付けた環付きウキならアタリが取れます。45分交代でしたので棚をとることもできませんが、浅いところが多い場所であることはわかっていたので少し長めのハリスで半ヒロを誘導での仕掛けで数投しているとアタリがありますが、針には乗らずもう一度投入しなおし少し待ってから合わせると小さいながら本命のチヌが釣れました。それ以降アタリがなく一回戦勝ち上がり、もう少し釣りができると喜んでおりました。2回戦3人で前回優勝の小出選手、兵庫県の名手西岡選手です。1回戦で使っていた磯なので撒き餌もかなり入っているため釣れ出す頃かと思いましたが、予想に反して1ラウンド誰も釣れず、2ラウンド目で沖に投げてもダメ手前も釣れずでしたが右のサラシが出ているシモリ周辺に集中してみました。そこで1回戦より小さいチヌが釣れました。これには思わず、ギャラリーで見ていた八木

選手が「ちっさ!」ともらすほどでした。そのまま終了の合図でなんと決勝に進出することができました。そして決勝の舞台、対戦相手は大阪の上山選手、同じ京都の大先輩である坂本選手、三重県の松本選手での対戦、釣果ありでここまで来たので決勝でも釣果ありで終わりたいものです。それぞれのポイントに入り開始、役員からここでは5匹以上釣れないと優勝できないよとのお言葉、海を見るときぐにもチヌが当たりそうな雰囲気、すぐに坂本選手がチヌを釣りあげます。他の3名にチヌの釣果があり焦ってきます。磯際のシモリ周りのウキがいきなり海中に引き込まれやっとなにも本命と合わせますが、重量感が半端ではありません、何とか魚を浮かせると赤い色をしているではありませんか。この一匹で力が抜けたのかそのあと場所交代のたびにチヌを拾い上げることができました。最後のポイントでは餌がたまるところを見つけ連発することができ7匹もの釣果を得て優勝することができました。今回の大会は役員の皆様の準備、設営には頭が下がる思いでした。本当にありがとうございました。来年はこの状況が改善し何の心配もなく開催できることを切に祈ります。



## 仕掛け

竿/がまかつ チヌ競技スペシャルIII 0.6×5.3  
リール/ダイワTOURNAMENNT ISO2500SH-LBD  
ライン/道糸 東レブラックマスター1.75号  
ハリス/スムーズロック1.5号  
ウキ/ソルトブレイクジャパン 銀桜R G2  
針/がまかつ テカケンチヌ3号、チヌエース2号